



豊中市

- 地域スポーツ団体と部活動の連携を図る
- 指導者派遣型・市主催スポーツ体験会の実施

【概要】

学校部活動と地域スポーツ団体と地域移行に向けた指導者派遣型体験会を複数回実施するとともに、中学生が体験可能な市主催スポーツ体験会を開催し、地域主体の活動の展開や運営の在り方等について課題を把握する。

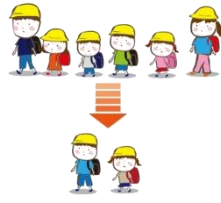
課題①

(顧問の専門性)



指導経験のないものが顧問を務めている他、生徒数の減少により、部活動が縮小・休止。

(生徒数の減少)



課題②

(担い手の不足)



地域移行に向け、地域における継続した担い手の確保や、費用負担等の在り方に課題。

(費用の負担)



取組概要



【豊中市】

活動日時の連絡
場所の調整
使用物品の確保

活動日時、場所等の
連絡調整



(部活動地域移行検討会議)

スポーツ振興課・魅力文化創造課・教育委員会事務局
豊中市中学校体育連盟・豊中市中学校校長会



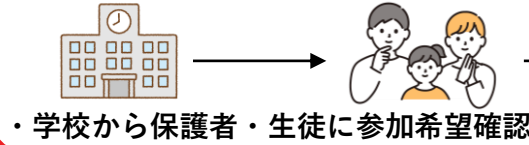
豊中市ラグビーユニオン



(事務局)
・市との連絡調整
指導者の調整 等



(指導者)
・指導者の派遣



・学校から保護者・生徒に参加希望確認



①中学校の合同練習会
に指導者を派遣



②市主催スポーツ
体験会の開催

箕面市

- 地域移行に向けた意識改革・理解の獲得
- 運営ノウハウを持つ運営主体の確保



【概要】

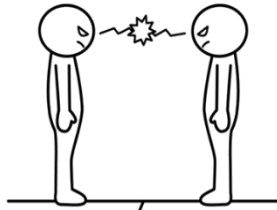
昨年度より継続し、地域・企業等と連携した実証実験を行うとともに、持続可能で多様なスポーツの整備及び子どもたちの多様な経験・機会の確保を行う。

課題①



合同クラブを開催した際の、指導者と参加者の適正な人数の在り方について検証が必要。

課題②



地域クラブ指導者の指導方法が参加者のニーズにマッチしていない。

課題③



指導者の資質向上に向け、行政・大学・地域団体・企業・高校等との連携が必要。

課題④



学校や生徒、保護者に対し情報を発信し、地域移行に向けた意識改革・理解が必要。

取組概要

【令和4年度】



3中学校において実証事業を展開



【令和5年度】



箕面市域内全8中学校で実証事業を展開



全12競技を体育連盟・民間企業と実施

連携先





八雲・第一 × リトルFC

さつき学園・第一・錦・樟風 × 守口市スポーツ協会 コスモスポーツクラブ

✓ サッカー部における休日の地域移行(継続)

✓ ソフトテニス・バスケットボール部(継続&拡充@コスモ)と卓球部(拡充@市スポーツ協会)における休日の地域移行



- 【活動概要】**
- 両校とも平日は学校部活動を継続
 - 休日を地域スポーツ活動としてリトルFCへ移行
・活動は八雲中グラウンドにて合同実施

- 【背景】**
- 両校ともサッカー指導可能教員の確保難
 - 両校とも教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
 - 八雲中は、近年生徒数の減少が顕著で、部活動の数や種目を縮小しているところであった

休日の部活動の運営組織

リトルFC
創部：1987年
スポーツ少年団

- 計9名の指導者が所属
- 休日の指導(運営・計画等)を担う
- 今後は平日の外部指導者としての指導者派遣を検討中

休日の部活動の運営組織 守口市スポーツ協会

MORIGUCHI SPORTS
設立：2000年
特定非営利活動法人

- 約4千名の会員、21競技団体が構成
- 本事業の拡充にあたり、参加団体の協力等を打診中

休日の部活動の運営組織

コスモスポーツクラブ
設立：1972年
幼児活動研究会株式会社

- 指導者は所属社員
- 休日の指導(運営・計画等)を担う
- 今後継続して担うための形態等を検討中

【背景】

- 全校で複数部活動の指導可能教員の確保難
- 全校で教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- さつき学園は、部活動指導を理由に前期課程から後期課程への校内人事がしづらい状況がある

リトルFCについて

- 守口市で活動する幼児・小学生を対象としたサッカーチーム
・市内幼稚園・保育園へサッカー巡回指導も実施
- 指導者はJFA公認ライセンス等を保有
- リトルFC出身生徒の多くは八雲・第一中等へ進学
- リトルFC指導者の多くが八雲中出身
- 八雲中サッカー部への外部指導歴あり

特定非営利活動法人 守口市スポーツ協会の参加団体(競技名)について

- 軟式野球、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、サッカー、テニス、ソフトテニス、卓球、インディアカ、グラウンドゴルフ、太極拳、クレー射撃、剣道、トランポリン、相撲、柔道、少林寺、フルコンタクト空手、バスケットボール、セーフティー空手道、ウォータースポーツ

幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブについて

- 全国の幼稚園・保育園と、そこに通う児童を対象とする仕事を基幹事業とする会社
- 保育時間内の体育指導のほか、サッカー、新体操などの課外指導も行っている
- 指導者は当該種目の経験者(中には国体出場経験者あり)

大東市

○学校現場・地域の理解獲得

○地域の高校・大学との連携による剣道の発展



大阪産業大学
OSAKA SANGYO UNIVERSITY



【概要】

大東市内の8中学校を東西4校ずつに分け、東西の各活動場所において休日に合同の部活動（剣道）を実施。地元の高校・大学等と連携を図ることにより、充実した指導を提供するとともに、剣道の発展につなげる。

課題 ①



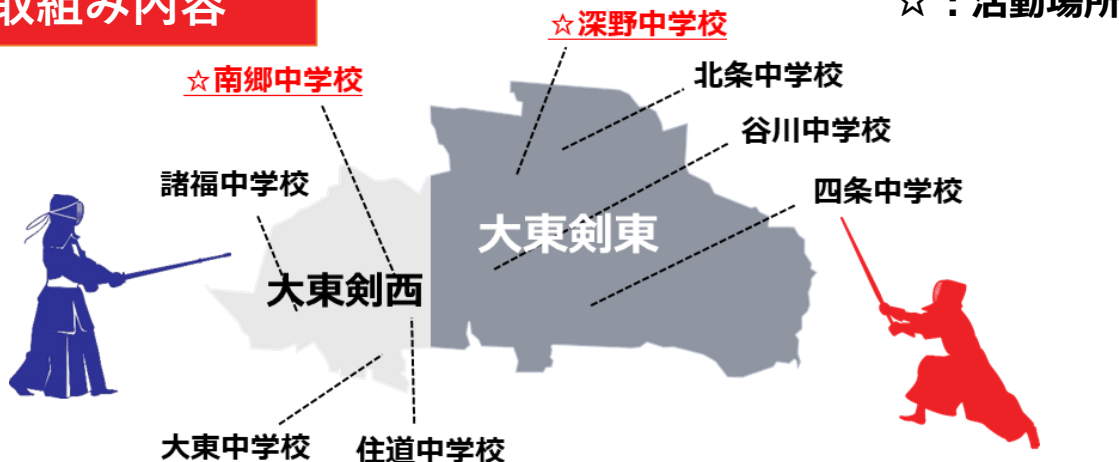
市内中学校教職員アンケートで、部活動の指導が負担であると感じている割合が半数以上を占めた。

課題 ②



部活動が担う生徒指導的側面や継続して指導したい教員への配慮不安を抱えている。

取組み内容



- ・市内8中学校を4校ずつ東西に分け、それぞれに活動場所を設ける。
- ・週に1度休日に所属するチームにおける活動を各活動場所で開催。
- ・大東剣東・西の合同稽古を実施。
- ・地元の高校、大学、剣道連盟との連携により指導者を確保。
- ・指導を希望する教職員は兼職兼業を認める。

連携先



（大阪産業大学）

大東剣東・大東剣西との定期的な交流。



（四條躰学園高校）

大東剣東との定期的な交流。



（太成学院大学高校）



（城東工科高校）

大東剣西との定期的な交流。

岸和田市

- 合同で練習を行うことのできる環境の整備
- 様々なスポーツを楽しむことができる環境の整備



特定非営利活動法人
FC岸和田

NPO法人
SPORTSCLUB
DIAMANTE

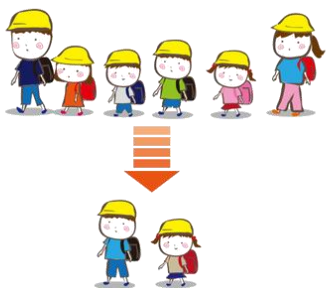


社会福祉法人
岸和田市社会福祉協議会

【概要】

岸和田市内で活動する総合型地域スポーツクラブや民間スポーツ団体等と連携し、休日に専門的指導者を小学校に派遣することで、段階的な部活動地域移行をめざすとともに、様々なスポーツを体験できる機会を提供する。

課題①



人口減少に伴い、中学校の生徒数・部活動数も減少し、1中学校単位での試合出場が困難。

課題②



地域クラブ活動実施にあたり、地域に配置する指導者が不足。
(教員の負担増)

取組概要

○所管8中学校で地域移行に向けた事業を実施

連携先①



特定非営利活動法人
FC岸和田

【FC岸和田】

設立：2002年（特定非営利活動法人）

指導種目：サッカー・ダンス

・桜台、久米田中学校で行う地域移行に関する運営及びコーディネーター業務



連携先②

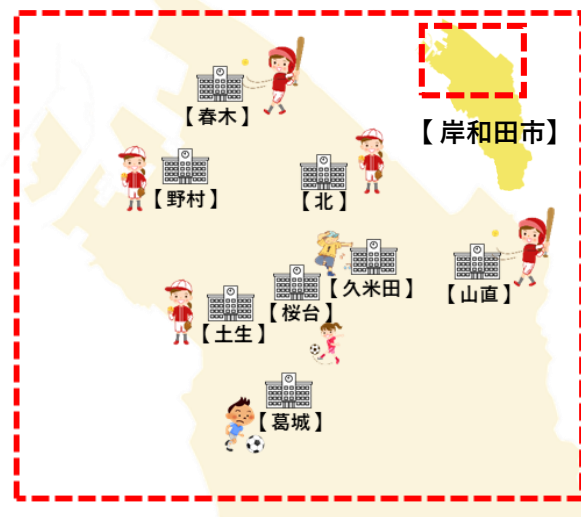


【ディアマンテ】

設立：1999年（特定非営利活動法人）

指導種目：サッカー・ソフトボール

・葛城、春木、土生、山直、北、野村中学校で行う地域移行に関する運営及びコーディネーター業務



連携先③

【ドゥールース】

指導種目：BMX



連携先④

【岸和田マネジメント合同会社】

指導種目：スポーツクライミング



連携先⑤

【岸和田市社会福祉協議会】

指導種目：パラスポーツ（生涯スポーツ）



○所管全中学校で体験型クラブを実施

岸和田市内の様々な施設を利用し、岸和田市独自のクラブ活動を展開するとともに、市民の施設活用の継続をめざす。



泉大津市

- 子どもたちの多様な経験・機会確保
- 部活動に係る教職員の負担軽減



【概要】

部活動（吹奏楽部）を民間団体に委託することによる管理運営及び指導者研修会の成果、参加者が負担する金額等の検証を実証事業の中でを行い、子どもにとってよりよい形での地域移行をめざす。

課題①

(セキュリティ)

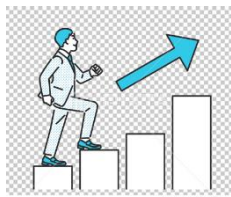
(責任の所在)



休日の施設や楽器の管理方法、責任の所在について検討が必要。

課題②

(指導者の資質向上)



指導者向けの研修会開催有無について検討が必要。

課題③



公費を含めた費用負担について検討が必要。

取組み概要

【泉大津市】



- ・学校と吹奏楽団との連絡調整
(活動場所・使用物品・活動日程 等)
- ・課題や検討事項の整理

【小津中学校】



- ・使用物品の確認



- ・生徒、保護者への連絡

- ・活動場所の提供

【泉大津市吹奏楽団】



- (事務局)
 - ・市との連絡調整
- (指導者)
 - ・指導者の派遣

実証事業で把握した課題や成果を市内で共有し、市内他2中学校でも地域移行を推進する。

大東市

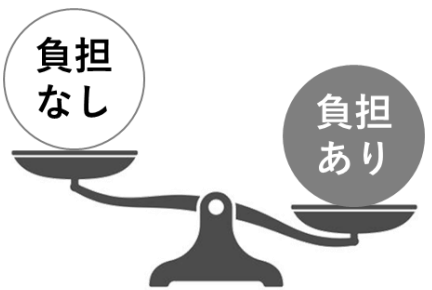
- 生徒が多様な文化芸術に親しめる環境の構築
- 地域との連携による学校への理解促進



【概要】

市内全8中学校の希望生徒に対し、休日のみ2週間に1回（3時間）程度、地域人材を活用したメディア部の地域移行に向けた実証事業を実施する。

課題 ①



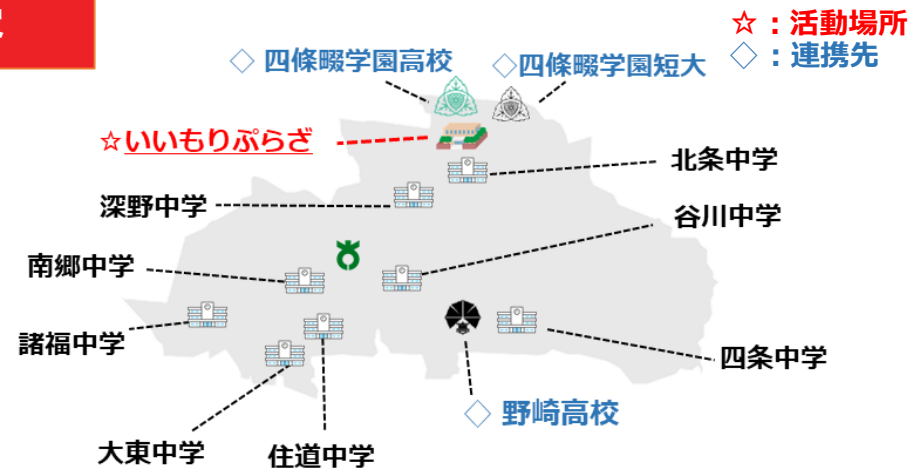
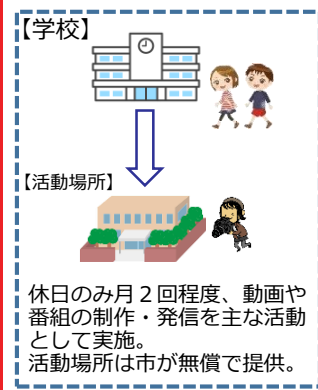
市内中学校教職員アンケートで、部活動の指導が負担であると感じている割合が80%以上を占めた。

課題 ②



部活動が担う生徒指導的側面や継続して指導したい教員への配慮に不安を抱えている。

取組み内容



- ・指導者は声優やアニメーションの知識を持つ方や、学校現場でICT支援に従事している地域人材を活用。
- ・ICTを活用し、指導者同士、指導者と生徒とのコミュニケーションをDX化。
- ・メディア部が中心となり、市の魅力発信や市主催のイベント等に参加。
- ・地元の高校、大学との連携により行事等での連携を図り、企画の共同制作を行う。
- ・活動場所及び付属設備を市の協力で無料借用し、継続的な活動場所を確保。

連携先



- <行事等を通じた連携・交流を図る>
- ・中学生が考えた企画を高校生が実践
 - ・高校生とのコラボレーション動画制作
 - ・大学部活動との共同企画制作 等

※委託契約時の計画書等に基づき府教育庁にて作成したものとします。